



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月13日

上場会社名 はごろもフーズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 2831 URL <https://www.hagoromofoods.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 佐恵子
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長 兼 企画部長 兼 SDGs担当 (氏名) 越野 勉 TEL 054-288-5200
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年12月6日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	38,715	3.3	2,193	57.3	2,454	50.9	1,792	38.1
2024年3月期中間期	37,483	5.3	1,394	—	1,626	863.8	1,298	—

(注) 1. 包括利益 2025年3月期中間期 1,112百万円 (△66.6%) 2024年3月期中間期 3,333百万円 (—%)

2. 2024年3月期中間期の営業利益、親会社株主に帰属する中間純利益および包括利益の対前年中間期増減率は1,000%以上となるため「—」と記載しています。

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	190.50	—
2024年3月期中間期	137.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	67,858	40,136	59.1	4,265.00
2024年3月期	66,366	39,258	59.2	4,171.77

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 40,136百万円 2024年3月期 39,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2025年3月期	—	30.00	—	—	—
2025年3月期 (予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2025年3月期中間配当金の内訳 : 普通配当25円00銭 記念配当5円00銭

詳細は本日発表の「剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,800	1.8	2,300	25.4	2,800	23.4	2,000	14.3	212.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	10,325,365株	2024年3月期	10,325,365株
2025年3月期中間期	914,804株	2024年3月期	914,804株
2025年3月期中間期	9,410,561株	2024年3月期中間期	9,410,561株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、業績の進捗に応じ予想を修正することがあります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
3. 2025年3月期中間期決算短信(連結)補足説明	10
(1) 売上高・利益の増減要因等	10
(2) 販売費及び一般管理費の内訳	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化にともなう人流の回復やインバウンド需要の増加、雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復の動きが見られました。しかし原材料およびエネルギー価格の高止まりや為替相場の変動等により、先行き不透明な状態が続きました。

食品業界においては、物価上昇によりお客様の生活防衛意識が高まり節約志向が強まる中で、販売競争が激化する等、厳しい経営環境が続きました。

このような中、当社グループは、中期経営計画「Challenge & Change for 100th! ~もっとおいしく、もっと便利に、もっと優しく、そしてもっと元気に!~」の優先課題であるブランド価値向上のため、お客様のニーズに応える健康志向や、簡便性・利便性といった機能を追求した製品の販売に注力しました。あわせて、シーチキンにおいては、販売促進活動の一つである「シーチキン食堂」のテレビコマーシャルと連携した「朝たん(=朝にたんぱく質を摂る)」等のメニュー提案により、さらなる製品の需要喚起とブランド価値の訴求に努めました。一方で主原材料や容器包装資材、エネルギー価格等の上昇により売上原価が増加したことから、一部の製品において価格改定を実施しました。

この結果、家庭用食品の販売は、価格改定による買い控え等の影響はありましたが、新価格の定着と健康志向や機能性を追求した製品や、明確な製品コンセプトを打ち出した製品がお客様に支持されたこと等により伸長しました。業務用食品の販売は、価格改定およびコンビニエンスストアや外食産業向けが伸長し、当中間連結会計期間の売上高は387億15百万円(前年同期比3.3%増)となりました。

利益面では、売上総利益の増加と販売奨励金等の減少により、営業利益は21億93百万円(同57.3%増)、受取配当金が増加したこと等により、経常利益は24億54百万円(同50.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は17億92百万円(同38.1%増)となりました。

なお、当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っていませんが、製品群別の販売動向は以下のとおりです。

表：製品群別売上高(連結)

(単位：千円、%)

製品群		前年同期		当第2四半期(中間期)		増減		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率	
製品	家庭用食品	ツナ等	17,468,140	46.6	17,931,010	46.3	462,870	2.7
		デザート	2,763,528	7.4	2,779,196	7.2	15,668	0.6
		パスタ&ソース	3,147,648	8.4	3,315,653	8.6	168,004	5.3
		総菜	3,368,287	9.0	3,455,193	8.9	86,905	2.6
		削りぶし・のり・ふりかけ類	1,701,062	4.5	1,879,602	4.9	178,539	10.5
		ギフト・その他食品	1,419,621	3.8	1,514,828	3.9	95,207	6.7
		計	29,868,289	79.7	30,875,485	79.8	1,007,196	3.4
	業務用食品	6,467,998	17.2	6,618,906	17.0	150,908	2.3	
	ペットフード・バイオ他	973,994	2.6	1,036,028	2.7	62,033	6.4	
	計	37,310,281	99.5	38,530,420	99.5	1,220,138	3.3	
その他	173,540	0.5	185,039	0.5	11,499	6.6		
合計	37,483,822	100.0	38,715,459	100.0	1,231,637	3.3		

「ツナ等」では、主力の油漬缶詰「シーチキンマイルド」は低調でしたが、「シーチキンLフレック」や開けやすく後片付けが簡単なパウチタイプの「シーチキンSmile」シリーズが伸長し、売上高は前年同期比2.7%増加しました。

「デザート」では、主力の「朝からフルーツ」缶詰は低調でしたが、毎シーズン新製品を投入しラインアップを拡充している「朝からフルーツ」パウチシリーズが伸長し、売上高は同0.6%増加しました。

「パスタ&ソース」では、パスタは主力の結束タイプのスパゲッティ「ポポロスバ7分」や「ポポロスバ5分」が好調でした。ソースは主力のミートソース缶詰や、電子レンジ対応パウチを使用した「パパッとレンジパスタソース」シリーズが好調で、売上高は同5.3%増加しました。

「総菜」では、主力の「シャキッとコーン」シリーズは低調でしたが、さば・さんま・いわし調理品の健康シリーズや「ホームクッキング」パウチシリーズが伸長し、売上高は同2.6%増加しました。

「削りぶし・のり・ふりかけ類」では、かつおパックや味付けのりは低調でしたが、花かつおやきざみのりが好調でした。ふりかけは、ラインアップを拡充した「のり弁慶」や「天下無添ふりかけ」シリーズ等のふりかけや、「わかめ混ぜごはん」シリーズが伸長し、売上高は同10.5%増加しました。

「ギフト・その他食品」では、パスタやフルーツ関連のギフトは低調でしたが、電子レンジで簡単に調理可能な包装米飯「パパッとライス」が伸長し、売上高は同6.7%増加しました。

「業務用食品」では、コンビニエンスストアおよび外食産業向けの販売が好調で、売上高は同2.3%増加しました。

「ペットフード・バイオ他」では、ペットフードの「無一物」シリーズや、新たに投入した「にゃんチュラルパウチ」シリーズが伸長し、売上高は同6.4%増加しました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の内容

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より14億92百万円増加して、678億58百万円となりました。これは主に、商品及び製品が9億24百万円、投資有価証券が5億87百万円減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が18億69百万円、現金及び預金が11億88百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末より6億14百万円増加して、277億22百万円となりました。これは主に、未払金が21億48百万円、固定負債のその他が4億11百万円、長期借入金が3億25百万円減少したものの、流動負債のその他が16億85百万円、支払手形及び買掛金が13億64百万円、未払法人税等が3億69百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より8億77百万円増加して、401億36百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が6億9百万円減少したものの、利益剰余金が15億57百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の59.2%から59.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ、11億88百万円増加し、19億85百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の営業活動により増加した資金は19億78百万円(前年同期は3億76百万円の増加)となりました。これは主に、未払金の減少があったものの、税金等調整前中間純利益や減価償却費の計上、仕入債務の増加があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の投資活動により減少した資金は3億8百万円(前年同期は4億49百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間の財務活動により減少した資金は4億80百万円(前年同期は5億2百万円の増加)となりました。これは主に、長期借入金の返済や配当金の支払があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期連結業績予想については、2024年11月1日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で発表したとおりです。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	797,033	1,985,950
受取手形、売掛金及び契約資産	19,345,106	21,214,699
商品及び製品	10,347,742	9,422,846
仕掛品	52,228	64,158
原材料及び貯蔵品	2,922,011	3,367,169
その他	1,801,426	1,711,431
流動資産合計	35,265,547	37,766,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,044,299	6,857,978
土地	3,169,725	3,169,725
その他(純額)	3,563,060	3,353,588
有形固定資産合計	13,777,085	13,381,292
無形固定資産	370,527	354,184
投資その他の資産		
投資有価証券	14,983,507	14,396,419
退職給付に係る資産	1,475,592	1,492,030
その他	497,696	471,967
貸倒引当金	△3,159	△3,159
投資その他の資産合計	16,953,637	16,357,258
固定資産合計	31,101,250	30,092,734
資産合計	66,366,798	67,858,990
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,329,748	12,694,284
1年内返済予定の長期借入金	566,356	650,024
未払金	5,531,838	3,383,767
未払法人税等	425,625	795,456
賞与引当金	370,432	377,656
その他	1,327,687	3,013,396
流動負債合計	19,551,687	20,914,585
固定負債		
長期借入金	3,149,809	2,824,797
役員退職慰労引当金	792,424	780,301
退職給付に係る負債	15,477	15,954
その他	3,598,738	3,187,294
固定負債合計	7,556,450	6,808,348
負債合計	27,108,137	27,722,933

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,527	942,527
利益剰余金	30,119,249	31,676,678
自己株式	△2,163,292	△2,163,292
株主資本合計	30,340,154	31,897,582
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,766,301	7,156,523
繰延ヘッジ損益	62,579	△271,476
為替換算調整勘定	335,023	621,740
退職給付に係る調整累計額	754,600	731,686
その他の包括利益累計額合計	8,918,505	8,238,474
純資産合計	39,258,660	40,136,057
負債純資産合計	66,366,798	67,858,990

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	37,483,822	38,715,459
売上原価	29,915,227	30,273,732
売上総利益	7,568,594	8,441,727
販売費及び一般管理費	6,174,252	6,248,490
営業利益	1,394,342	2,193,236
営業外収益		
受取利息	9	15
受取配当金	131,623	157,950
持分法による投資利益	73,631	68,148
仕入割引	18,527	18,388
賃貸料収入	32,542	32,030
その他	22,793	19,861
営業外収益合計	279,127	296,394
営業外費用		
支払利息	7,431	8,896
賃貸収入原価	15,024	15,683
その他	24,936	10,556
営業外費用合計	47,392	35,135
経常利益	1,626,076	2,454,495
特別利益		
固定資産売却益	11,310	2,409
投資有価証券売却益	—	7,112
補助金収入	180,000	64,701
受取補償金	—	23,500
建物解体費用戻入益	52,600	—
特別利益合計	243,910	97,723
特別損失		
固定資産除却損	1,064	2,142
固定資産売却損	852	—
品質関連損失	6,192	—
特別損失合計	8,109	2,142
税金等調整前中間純利益	1,861,877	2,550,077
法人税等	563,300	757,385
中間純利益	1,298,577	1,792,692
親会社株主に帰属する中間純利益	1,298,577	1,792,692

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	1,298,577	1,792,692
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,720,075	△609,778
繰延ヘッジ損益	152,316	△334,056
退職給付に係る調整額	△24,257	△30,594
持分法適用会社に対する持分相当額	186,432	294,397
その他の包括利益合計	2,034,566	△680,031
中間包括利益	3,333,143	1,112,661
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3,333,143	1,112,661
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,861,877	2,550,077
減価償却費	711,359	686,990
品質関連損失	6,192	—
受取利息及び受取配当金	△131,632	△157,966
支払利息	7,431	8,896
為替差損益(△は益)	3,064	2,503
持分法による投資損益(△は益)	△73,631	△68,148
補助金収入	△180,000	△64,701
受取補償金	—	△23,500
建物解体費用戻入益	△52,600	—
売上債権の増減額(△は増加)	△3,833,091	△1,869,593
棚卸資産の増減額(△は増加)	84,990	400,270
未収入金の増減額(△は増加)	960,124	△19,927
仕入債務の増減額(△は減少)	△286,742	1,364,535
未払金の増減額(△は減少)	△1,897,240	△2,070,131
未払消費税等の増減額(△は減少)	610,700	△88,334
その他	1,857,060	1,439,477
小計	△352,136	2,090,448
利息及び配当金の受取額	152,779	222,568
利息の支払額	△8,570	△8,570
法人税等の支払額	△40,009	△391,032
法人税等の還付額	446,497	—
補助金の受取額	180,000	64,701
品質関連損失の支払額	△1,992	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	376,567	1,978,115
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△490,024	△296,426
投資有価証券の取得による支出	△2,234	△2,133
その他	42,556	△9,540
投資活動によるキャッシュ・フロー	△449,702	△308,100
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△241,344	△241,344
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△20,423	△4,373
配当金の支払額	△235,264	△235,264
財務活動によるキャッシュ・フロー	502,968	△480,981
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,592	△115
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	428,240	1,188,917
現金及び現金同等物の期首残高	463,873	797,033
現金及び現金同等物の中間期末残高	892,114	1,985,950

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当中間連結会計期間の期首から適用しています。

従来、所得等に対する法人税、住民税及び事業税等(以下、「法人税等」という。)について、法令に従い算定した額を損益に計上することとしていました。しかし、所得に対する法人税等については、その発生源となる取引等に応じて、損益、株主資本およびその他の包括利益に区分して計上することとし、その他の包括利益累計額に計上された法人税等については、当該法人税等が課される原因となる取引等が損益に計上された時点で、これに対応する税額を損益に計上することとしました。なお、課税の対象となった取引等が、損益に加えて、株主資本またはその他の包括利益に関連しており、かつ、株主資本またはその他の包括利益に対して課された法人税等の金額を算定することが困難である場合には、当該税額を損益に計上しています。これによる、中間連結財務諸表への影響はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益または税引前中間純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しています。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しています。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

3. 2025年3月期 中間期決算短信(連結) 補足説明

(1) 売上高・利益の増減要因等

(単位: 百万円、%)

	前年同期		当第2四半期 (中間期)		前年同期比		前年同期比増減要因等
	金額	率	金額	率	金額	率	
売上高	100.0 37,483		100.0 38,715		1,231	103.3	販売函数 製品群別売上高 ・ツナ等 +462百万円 +2.7% ・デザート +15 +0.6 ・パスタ&ソース +168 +5.3 ・総菜 +86 +2.6 ・削りぶし・のり・ ふりかけ類 +178 +10.5 ・ギフト・ その他食品 +95 +6.7 ・業務用食品 +150 +2.3 ・ペットフード・ パイオ他 +62 +6.4
売上原価	79.8 29,915		78.2 30,273		358	101.2	・売上原価率 △1.6ポイント
売上総利益	20.2 7,568		21.8 8,441		873	111.5	
販売費及び 一般管理費	16.5 6,174		16.1 6,248		74	101.2	・販売奨励金 △171百万円 △14.4% ・広告宣伝費 +90 +17.1 ・荷造運賃・保管料 +8 +0.5 ・研究開発費 +21 +14.8
営業利益	3.7 1,394		5.7 2,193		798	157.3	
営業外損益	0.6 231		0.6 261		29	112.7	・受取配当金 157百万円計上 ・持分法による投資利益 68
経常利益	4.3 1,626		6.3 2,454		828	150.9	
特別損益	0.7 235		0.3 95		△140	40.5	・補助金収入 64百万円計上
税金等調整前 中間純利益	5.0 1,861		6.6 2,550		688	137.0	
法人税等	1.5 563		2.0 757		194	134.5	
親会社株主に 帰属する 中間純利益	3.5 1,298		4.6 1,792		494	138.1	

設備投資額	229	267	37	116.4	無形固定資産含む
減価償却費	711	686	△24	96.6	無形固定資産含む

(2) 販売費及び一般管理費の内訳

(単位: 百万円、%)

	前年同期	当第2四半期 (中間期)	増減額	前年同期比
販売奨励金	1,187	1,016	△171	85.6
広告宣伝費	528	618	90	117.1
荷造運賃・保管料	1,709	1,718	8	100.5
給料・賞与(引当金繰入額含む)	971	960	△11	98.9
退職給付費用	48	38	△9	80.8
研究開発費	148	169	21	114.8
その他	1,581	1,726	144	109.2
合計	6,174	6,248	74	101.2